

医療従事者／研究者／学生の針刺し事故対策！  
注射針のシリンジ先端をきれいな状態のまま取り外せる画期的な容器

# 注射針回収容器「ハリポン」



第13回

医療の質・安全学会学術集会

安全を支える技術展  
アイデア賞を受賞いたしました



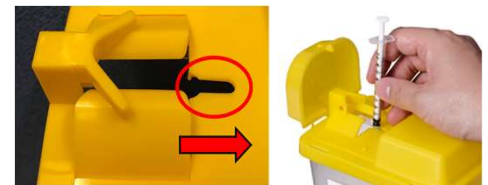
東京都 Tokyo Trial Participant Product  
トライアル  
発注認定商品

本商品は、東京都の新事業分野開拓者認定制度  
(東京都トライアル発注認定制度)の認定商品に選ばれました！

針刺し事故を防ぐため、注射針を**楽に・安全に**取り外せる  
**業界初のフラップ機構**を採用



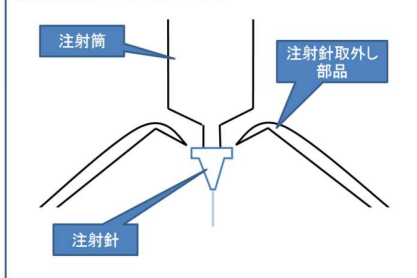
※1～2.5mlはフラップ手前にある溝を使い  
手前に軽くスライドするだけで取り外せます。  
(引き抜く動作は不要です)



札幌市立大学様に医療現場の強いニーズをお聞きし、片手操作で簡単に注射針を取り外し、  
シリンジ先端を汚さずに廃棄ができる「ハリポン」を開発いたしました。

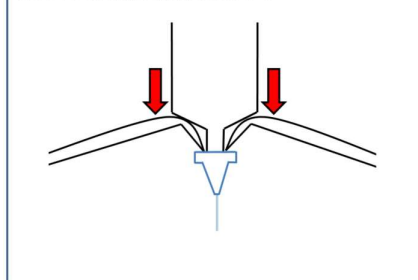
※特許番号：6041275号

①注射器を上から垂直に入れる



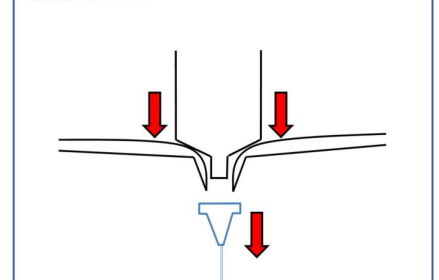
①シリンジを支柱に合わせ垂直にセットした時、フラップ先端はシリンジに  
触れません。

②フラップが注射針の淵に引っかかる



②シリンジを垂直の押し込んだ時、フ  
ラップ先端が一点で注射針を押し下げま  
す。

③注射針が外れる



③針が抜けたシリンジをそのまま垂直  
に引き上げることによって、フラップ  
の先端はシリンジに触れることなく引  
き上げられます。

お問合せ



菱電商事株式会社

ヘルスケア部 TEL 03-5396-6128

製造元



株式会社エーワンテクニカ

医療現場では注射針の**リキャップは禁止**とされています。  
ハリポンをご利用いただくことにより、リキャップをせずに**安全かつ簡単な針交換作業をサポートいたします**。また、ハリポンはシリンジ先端をきれいなまま注射針を交換することができるので、以下のような場面に最適です。

## ※使用想定場面

- ◆アンプルやバイアルを多用するシーン（ミキシング台や外来等）
- ◆整形外科の関節の水抜きとヒアルロン酸注射時の注射針交換
- ◆注射筒を利用する採血室
- ◆看護学生や医学生の注射実習

針刺し回数 (n=269)	平均	標準偏差	最小値	最大値
	2.4	2.4	1	20
針刺し経験				
(n=729)	あり	351 (48.1)		
	なし	365 (50.1)		
	回答なし	13 (1.8)		
針交換で危険を感じたか				
(n=729)	感じた	612 (83.9)		
	感じなかった	99 (13.6)		
	回答なし	18 (2.5)		
針交換方法に問題を感じたか				
(n=729)	感じた	447 (61.3)		
	感じなかった	256 (35.1)		
	回答なし	26 (3.6)		

※日本看護技術学会誌 Vol 17より抜粋



アンプル・バイアル

（日本経済新聞2016年6月22日掲載記事）

使用済み注射針を片手で安全に外せる回収容器

**キャンペーン第1弾 この一品**

札幌市立大学は医療従事者が注射の準備中に針を指に刺す事故を防ぐため、注射針の回収容器を開発した。看護学部の田中広美講師らが注射器本体を清潔に保ちながら針を安全に交換できるようにした。プラスチック製品メーカーの「エーワンテクニカ（東京・葛飾）」に製品化を依頼。2016年度中の発売予定だ。

注射前に看護師はまずガラス製のアンプルを割り、中の薬液を注射器で吸い出す。針先にガラスの破片が付着する可能性があるため、別の針と交換して接種する。元の針にキャップをかぶせて外す際に指を刺すことがあり、使用済み針の回収容器を使う場合もある。

ただ、現在普及している回収容器では針を引

かけて取り外すツメが、針の根元（針基）だけでなく注射器本体の先端にも触れてしまう。多くの針を外しているとツメが汚れ、細菌が注射器内に混入するリスクがある。

札幌市大の回収容器はツメが針基にしか触れない構造で、注射器を清潔に保つ。忙しい医療現場を考慮、片手でも確実に取り外せるようにした。

現在のデザインにたどり着くまでは試行錯誤の連続だった。構想を練り始めたのは約3年前。必要な機能は分かったものの「最初の2年間は全く形にならなかった」と田中氏は打ち明ける。

窮地を救ったのはもう一つの柱であるデザイン学部だ。開発に協力した杉哲夫教授（当時）は大手家電メーカー出身で、必要な機能をデザインに落とし込むのが得意。昨夏、東京で見本市に試作品を出したところ、多くの企業の問い合わせを受け、製品化が決まった。

異色の組み合わせの2学部の連携が生きた。価格は未定だが、医療廃棄物として処分するため1000円以下が目標だ。

**注射針の回収容器——札幌市立大**

**針交換時、注射器の清潔さ保つ**

お問合せ



菱電商事株式会社

ヘルスケア部 TEL 03-5396-6128

製造元



株式会社エーワンテクニカ